

健康・福祉

「第66回尾道発達障害児支援フォーラム」を開催します

演題 「発達障害児の継続的支援 入学後の支援について」

日 令和6年1月27日(土) 13:30~15:00

場 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園プレイルーム(対面)、Zoom(オンライン)

定 60人(会場とZoom配信の合計)

講師 榊原洋一さん
(お茶の水女子大学 名誉教授)

申 申込フォームで



← 申込フォーム



榊原洋一さん

締 12月25日(月) 17:00

問(社福) あづみの森尾道発達相談・療育支援センターあづみ園
(☎0848-20-7887)

自死遺族の分かち合いの集い

大切な人を自死で亡くした人が、普段は言えないことを話せる、分かち合いの集いです。

※秘密は厳守します。

※治療や指導は行いません。

日 12月24日(日) 14:00~16:00

場 アンテナ・コーヒーハウス
(東土堂町11-3)

対 ご家族・親戚を自死で亡くした人
料 300円

申 問 アンテナ・コーヒーハウス
(☎0848-22-2080)

献血 尾道市献血推進協議会
☎0848-24-1177

日 時	場 所
12/22(金) 9:00~11:30	広島県尾道庁舎

HP <https://www.kenketsu.jp/Login>
※献血前日の17:00まで予約可能。
(要会員登録)

健康相談など

成人健康相談(前日までに要申込)

内 健診結果説明、健康・栄養相談、
体組成・骨密度測定

■総合福祉センター

日 令和6年1月17日(水)
9:30~11:00

■因島総合福祉保健センター

日 12月26日(火) 14:00~15:00
申 問 健康推進課
(☎0848-24-1962)

こころの相談

対 心の悩みのある人や家族、または概ね18歳以上のひきこもり状態にある人や家族(治療中でない人)

■総合福祉センター

日 ①12月25日(月)
②令和6年1月11日(木)
13:30~16:30

担当 公認心理師

定 各日2人

締 ①12月21日(木)

②令和6年1月10日(水)

申 問 健康推進課

(☎0848-24-1962)

■御調保健福祉センター

日 12月20日(水) 13:30~15:30

担当 公認心理師、保健師

締 12月19日(火)

定 2人

申 問 御調保健福祉センター

(☎0848-76-2235)



東部保健所での相談(要申込)

●アレルギー疾患相談

日 12月19日(火)、令和6年1月16日(火)
13:30~15:30

内 生活・栄養相談(子どもの相談は母子健康手帳持参)

締 前日まで

●精神保健福祉相談

(精神科医師による相談)

日 令和6年1月17日(水)
13:30~15:30

場 広島県東部建設事務所三原支所
締 令和6年1月9日(火)

●B型・C型肝炎ウイルス検査

日 令和6年1月18日(木)
締 令和6年1月12日(金)

(予約時に名前・連絡先が必要)
※検査結果は次週。

●HIV抗原抗体検査・梅毒検査

日 令和6年1月5日(金)、1月18日(木)
締 前日まで

※検査結果は当日。匿名予約可。

申 問 広島県東部保健所保健課
(☎0848-25-2011)

座って全身ピラティス すきま時間にリフレッシュ

初心者や高齢者にも取り組みやすいよう、椅子を使って体操をします。

日 令和6年1月19日(金)

13:30~15:00

場 御調保健福祉センター

定 30人

講師 藤井輝美さん(マットピラティストレーナー)

持 飲み物、タオル、動きやすい服装

申 電話で

締 令和6年1月12日(金)

申 問 御調保健福祉センター
(☎0848-76-2235)



さすが会 男の料理教室

男性のみの料理教室で、食の自立を目指しませんか?

日 令和6年1月17日(水)

10:00~13:00

場 御調保健福祉センター

対 おおむね65歳以上の男性

定 15人程度

講師 管理栄養士

料 500円程度(予定)

持 米1合、エプロン、三角巾、手拭きタオル

申 電話で

締 12月27日(水)

申 問 北部地域包括支援センター
(☎0848-76-2495)



国保すこやか健康塾の お知らせ

日 令和6年1月11日(木)・25日(木)

2月8日(木)・22日(木)

3月14日(木)・28日(木)

13:30~15:30

場 芸予文化情報センター

対 尾道市国民健康保険加入者

内 ストレッチ体操、バランス運動、筋力づくり運動など

持 屋内用シューズ、ストレッチマット(持っている人)、タオル、飲み物

※体調不良の場合参加を控えてください。

問 因島福祉課(☎0845-26-6218)



医師会

だより #30



もっと知って欲しい膵臓がんのこと 早期診断はとても大切です

皆

様は「膵臓」をご存じですか。私の外来を訪れる患者様やご家族の多くは、「よくわからない」と言われます。膵臓は胃の裏側にあり、幅3cm、長さ12cm位の小さな臓器です。「膵液」を出して腸内で食餌を消化すると共に、「インスリン」などのホルモンで血糖を調節するなど、重要な働きがあります。一方、膵臓がんは従来から非常に治療成績が悪く、「5年生存率が最も悪いがん」とされています。現在日本国内では、膵臓がんの年間死亡者数が約40,000人と年々増加しており、死因の第4位とされ、治療成績の改善には早期診断の重要性が提唱されています。

私が当院に着任した1997年ころは、膵臓がんに対する有効な診断・治療法が少なく、膵臓専門医として非常に悔しい思いの連続でした。そんな中、2006年に日本膵臓学会から「膵癌診療ガイドライン」が発刊され、初めて膵臓がんの危険因子が提唱されたのを機に、尾道市医師会のご理解の

と「膵臓がん早期診断プロジェクト(尾道方式)」が2007年からスタートしました。「喫煙」、「大量飲酒」、「糖尿病」、「肥満」、「膵臓がんの家族歴」などを複数以上持つ患者様に、診療所などで血液検査や腹部超音波(エコー)などを行い、異常があれば中核病院に積極的にご紹介頂く取り組みです。開始後15年が経過した現在、早期診断例が増加し、地域の5年生存率は全国平均(8.5%)を大きく上回る約20%にまで改善しています。尾道方式はすでに国内50カ所以上で展開されており、2022年11月からは広島全県下で「尾道方式」を参考としたHi-PEACEプロジェクトも開始され、治療成績の改善が期待されています。皆様も膵臓がんに関心を寄せて頂き、何か気になることがあれば、診療所の先生方、当院のがん相談支援センターのスタッフなどに気軽にお尋ねください。

JA 尾道総合病院・副院長

花田敬士 先生

■ 次回は広報おのみち令和6年6月号に掲載予定です。